

第14回利賀ダム建設事業監理委員会資料

資料－1 利賀ダム建設事業の概要

資料－2 第13回委員会の審議結果

資料－3 事業の実施状況等に関する事項

資料－4 利賀ダム建設事業の事業費について

参考－1 補足資料

第13回委員会の審議結果

第13回利賀ダム建設事業監理委員会【審議結果】1/2

1. 日 時:令和7年9月9日(火) 14:00~15:55

2. 場 所:利賀ダム工事事務所 会議室

3. 審議結果:

○利賀ダム建設事業の概要について

- ・利賀ダム建設事業の概要、これまでの事業の進捗状況を報告。
- ・事業を巡る社会情勢等について説明し了承された。

○第12回委員会の審議結果について

- ・第12回委員会の審議結果について報告

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・令和7年度の工事概要及び工事進捗状況について説明。
- ・地盤変動域、押場地区、利賀トンネルの施工状況を詳細に説明。
- ・第2回基本計画変更以降、令和2年度より労務費が約1.24倍、資材費が約1.52倍となっているが、コスト削減策を進めながら事業の推進を図っていくことを説明。

○コスト削減に関する事項について

- ・これまでのコスト削減額、今後のコスト削減計画及びその状況について説明。

●意見

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・押場地区について、深礎工から鋼管杭工への工法変更は設計の基本的な考え方の変更であるため整理しておくこと。また、今回提案の工法は鋼管杭の上を自走するものであり工法変更することで仮栈橋の必要性について確認すること。
- ・地盤変動域の深礎工からすべての対策をアンカー工とする工法変更は設計の基本的な考え方の変更であるため考え方の整理をしておくことが必要。

第13回利賀ダム建設事業監理委員会【審議結果】2/2

・施工箇所が地すべり防止区域の中であると認識している。工法変更によって法律に基づいた協議・調整を県の関係部局と行う必要があると考える。工程に影響がないよう早めに開始していただきたい。

○コスト縮減等について

- ・円安やエネルギーの高騰などもありコストが高くなっている状況。工法変更によるコスト増だけでなく、新技術の導入によるコスト減などが見込まれることと思う。住民、県民の皆様にもコストに関する内容を見やすく工夫をしていただき、わかりやすい提示をしていただきたい。
- ・ダムの評価についてもコスト増のマイナス要素だけでなく、治水や利水のプラスの面についての効果も増えていると考えられるため、いろいろな面で評価しておく必要がある。
- ・能登の復旧復興の現場を見ているとコストは何でもかんでも削減すればよい物ではないと思う。個別の課題についてそれぞれコスト削減を考えるだけでなく、多少インシヤルコストをかけてでも工程を守ることが結果的にトータルコストの削減となるといった考えが大事であると思う。

○まとめ

- ・本体基礎掘削、地盤変動域の掘削について、若干の遅延があるものの重ダンプの規格変更(25t→40t)など遅延解消のために施工計画の変更を行っていること。
- ・押場地区貯水池斜面对策の抑止工について、水平ボーリングによる効果が見られないことから工法変更が示された。
- ・利賀トンネルにおいて、地山の不良による掘削支保パターン変更やインバート施工が必要になるなど、事業費の増加が見込まれることが示された。
- ・ダム本体の工程について妥当であることが確認された。非常に厳しい現場であることから、しっかりとした施工計画の検討をお願いしたい。
- ・コスト縮減については、リスクマネジメントを確実に進め経費削減に努められたい。また、精査が必要な工種もあり、コスト増に対する抑制について努められたい。
- ・利賀ダム建設事業は適切に管理されているが、労務費、資材費が高騰していることから、委員会としても全体事業費の精査を行う必要があるのではないかと考える。

審議結果の公開

[HOME](#) ▶ 取り組み：利賀ダム建設事業監理委員会

利賀ダム建設事業監理委員会

1. 委員会の目的

利賀ダムは、富山県 南砺市に位置し、庄川の右支川である利賀川に平成5年度より建設を進めている多目的ダムであり、「洪水の防御」「既得用水の安定化と河川環境の保全」「工業用水の確保」を目的としています。

ダム建設事業は、調査計画段階から用地補償、生活再建、ダム本体施工を経て管理に至るまで、長い期間と多額の事業費を必要とするプロジェクトであり、全国的に、水需要の伸びの鈍化や国民の環境意識やコスト意識の高まり等の「社会情勢の変化」により、ダム事業に対して厳しい目が向けられています。

特に、事業費について、いわゆる物価増以上に大幅に増加する事業があること、国と地方の財政が厳しくなっていること等により、関係者等の関心が高まっています。一方、公共事業投資について引き続き厳しい状況が予想される中、事業者としてこれまでも増して一層のコスト縮減、工期短縮に取り組んで行くことが求められています。

このような状況の中、利賀ダム建設事業全般にわたり事業費・工程等の管理をより充実して行うため、毎年、事業の進捗状況、コスト縮減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について、第三者の意見を求める機関として「利賀ダム建設事業監理委員会」を設置し、事業費・工程管理の一層の充実を図ることを目的としています。

これまでの審議結果を
事務所HPで公開
しています。

	開催日	内容	審議概要
第1回	平成20年7月18日(金)	(1) 利賀ダム建設事業の概要 (2) 利賀ダム建設事業の進捗状況 (3) コスト縮減策について	審議結果
第2回	平成21年4月14日(火)	(1) 第1回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果
第3回	平成22年7月6日(火)	(1) 第2回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果
第4回	平成29年7月18日(火)	(1) 第3回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果
第5回	平成30年8月9日(木)	(1) 第4回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果 事業進捗の報告概要
第6回	令和元年8月6日(火)	(1) 利賀ダム建設事業の概要 (2) 第5回委員会の結果概要 (3) 事業の実施状況等に関する事項 (4) コスト縮減に関する事項	審議結果
第7回	令和2年5月8日(金)	(1) 規約等改定(資料-1) (2) 利賀ダム建設事業の概要(資料-2) (3) 第6回委員会の審議結果(資料-3) (4) 事業の実施状況等に関する事項(資料-4) (5) 利賀ダム建設事業基本計画について(資料-5) 補足資料(参考-1)	審議結果
第8回	令和2年10月20日(火)	(1) 利賀ダム建設事業の概要(資料-1) (2) 第7回委員会の審議結果(資料-2) (3) 事業の実施状況等に関する事項(資料-3) (4) 官昭告示 第322号(資料-4) (5) 利賀ダム建設事業監理委員会規約(参考資料)	審議結果
第9回	令和3年8月26日(木)	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要(資料-1) (3) 第8回委員会の審議結果(資料-2) (4) 事業の実施状況等に関する事項(資料-3) (5) コスト縮減に関する事項(資料-4) (6) (参考資料) 委員会規約・設立趣意	審議結果
第10回	令和4年5月26日(木)	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要(資料-1) (3) 第9回委員会の審議結果(資料-2) (4) 事業の実施状況等に関する事項(資料-3) (5) コスト縮減に関する事項(資料-4) (6) (参考資料) 委員会規約・設立趣意	審議結果
第11回	令和5年7月26日(水)	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要(資料-1) (3) 第10回委員会の審議結果(資料-2) (4) 事業の実施状況等に関する事項(資料-3) (5) コスト縮減に関する事項(資料-4) (6) (参考資料) 委員会規約・設立趣意	審議結果
第12回	令和6年7月3日(水)	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要(資料-1) (3) 第11回委員会の審議結果(資料-2) (4) 事業の実施状況等に関する事項(資料-3) (5) コスト縮減に関する事項(資料-4) (6) (参考資料) 北原・長崎水源地の水量減少 (7) (参考資料2) 委員会規約・設立趣意	審議結果
第13回	令和7年9月9日(火)	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要(資料-1) (3) 第12回委員会の審議結果(資料-2) (4) 事業の実施状況等に関する事項(資料-3) (5) コスト縮減に関する事項(資料-4) (6) (参考資料) 委員会規約・設立趣意	審議結果